

# 【戦後70年を考える】リブ・イン・ピース@カフェ 私たちの隣の朝鮮学校

——日本の排外主義を乗り越えるために

3月22日(日) 13:30~16:30 (資料代100円)

西成区民センター (地下鉄・南海「天下茶屋」・地下鉄「岸里」)

朝鮮学校への支援を求める「火曜行動」に参加する韓国の若者たち(2月3日)



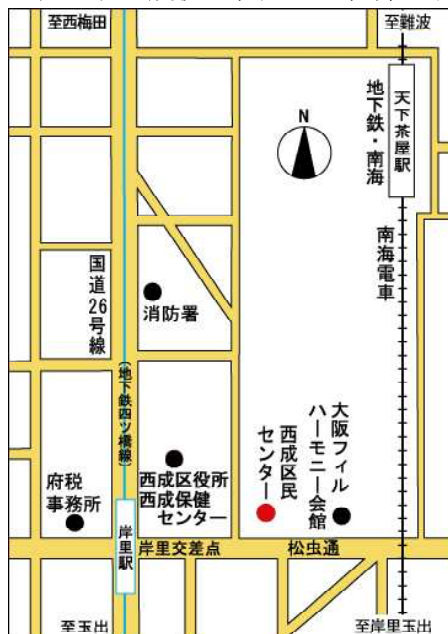
## 民族差別・排外主義のターゲットとされる朝鮮学校

戦後70年の今、民族差別・排外主義を叫ぶおぞましい「ヘイト・スピーチ」が在日外国人の多く住む町でおこなわれています。2009年には京都朝鮮学校に対する襲撃事件が occurred。排外主義を唱える団体が学校の門の前に押しかけ、汚い言葉を投げつけ、学校の器物を破壊していきました。これは一部の団体だけの問題ではありません。政府・自治体が率先して民族差別・排外主義行政をおこなっているのです。とりわけそのターゲットになっているのが朝鮮学校です。

1974年から40年近く朝鮮学校に支給されてきた大阪府の補助金は、当時の橋下大阪府知事によって中止させられ、今もそのままになっています。

2010年に民主党政権下で開始された「高校無償化制度」には当初、他の外国人学校と同じく朝鮮高校も対象とされました。ところが「審査中」と待たされたあげく、2012年に成立した安倍政権によって、朝鮮学校が該当する規定を削除するという卑劣なやり方で排除されてしまいました。

他民族を蔑視し、差別し、抑圧すること、それを政府の政策として正当化することは、戦争への道のりを踏み固めることに他なりません。



## 奪われた権利を取り戻す闘いが粘り強く続けられている

現在、大阪では補助金の再開と「高校無償化制度」の適用を求めて裁判が行われており、毎週火曜日の昼には大阪府庁前で朝鮮学校への支援を求める「火曜行動」が粘り強く続けられています。この運動に携わっているのは朝鮮学校の教職員・保護者・生徒、市民、弁護士です。裁判と毎週のアピール行動は東京などでもおこなわれ、さらに、韓国でも支援の輪が広がっています。国連の人種差別撤廃委員会では日本政府は朝鮮学校への差別をやめるようにとの勧告も出されました。民族教育は国際的にはあらゆる人への権利として保障されています。朝鮮学校でどのような教育がなされているか、子どもたちがどのように学校生活を送っているかは、そこに足を運べば誰でも知ることができます。

日本に蔓延している排外主義を乗り越えるために、私たちに何ができるか、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪)

<http://www.liveinpeace925.com/>

E-mail [info@liveinpeace925.com](mailto:info@liveinpeace925.com)

